

競技上の注意

- 1 競技は(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブック及び本大会要項に従って行う。
- 2 コート割り及び進行は別表のとおりとする。ただし、本部の判断で変更することがあるので、本部からの放送や「招集掲示板」には十分注意する。
- 3 使用球は公認球(白色)を使用する。(団体:アカエム、男子個人:ダンロップ、女子個人:ケンコー)
- 4 マッチは7ゲームとする(荒天等の理由により、変更することがある)。
- 5 選手・監督の変更届について
 - (1) 選手・監督に変更がある場合には、ブロック長を通して、各「変更届」を到着受付時間内に「到着受付」に提出する。
 - 個人戦は、8月20日(火)の到着受付時間内に提出する。
 - 団体戦(8月21日が初戦のチーム)は、8月21日(水)の到着受付時間内に提出する。
 - 団体戦(8月22日が初戦のチーム)は、8月22日(木)の到着受付時間内に提出する。
 - (2) 各「変更届」は、コピーを「変更届掲示板」に掲示する。
- 6 個人戦について
 - (1) 「選手到着届」を8月20日(火)は、7時40分～8時20分、8月21日(水)は7時40分～8時00分までの間に、監督が「到着受付」へ提出する。
 - (2) 選手・ベンチ入り指導者(監督またはコーチ)は以下に示す時刻までに「選手招集所」に集合する。なお、試合の終了時刻は「Web進行表」に掲載する。また、集合時刻は「招集掲示板」に掲示する。
 - 8月20日(火)
 - 第1試合 《9時35分》
 - 第2試合 《10時05分》
 - 第3試合から第8試合 《試合を行うコートの二つ前の試合が終了してから20分以内》
 - 第9試合(3回戦)以降 《第8試合が終了してから15分以内》
 - 8月21日(水)
 - 第1試合(準々決勝) 《8時40分》
 - 第2試合(準決勝)以降 《対戦ペアが確定してから15分以内》
 - (3) コートへの入退場は招集係・審判員の指示に従う。
- 7 団体戦について
 - (1) 3ペアの点取り対抗戦とし、2点を先取したチームを勝者とする。ただし、21日(水)のすべての試合と、22日(木)の第1試合、第2試合(男女とも両日の初戦)は、3マッチ全てを行う。
 - (2) 8月21日(水)の「選手到着届」は、12時00分から12時30分の間に、監督が「到着受付」へ提出する。
8月22日(木)の「選手到着届」は、7時40分から8時00分の間に、監督が「到着受付」へ提出する。
 - (3) オーダー票の提出は以下に示す時刻までに監督が「オーダー受付」に提出する。なお、試合の終了時刻は「Web進行表」に掲載する。また、集合時刻は「招集掲示板」に掲示する。
 - 8月21日(水)
 - 第1試合(女子1回戦) 《13時00分》
 - 第2試合(男子1回戦) 《14時00分》
 - 8月22日(木)
 - 第1試合(女子2回戦) 《8時30分》
 - 第2試合(男子2回戦) 《9時30分》
 - 第3試合(準々決勝)以降 《対戦チームが確定してから10分以内》
 - (4) 選手・ベンチ入り指導者(監督またはコーチ)は以下に示す時刻までに「選手招集所」に集合する。なお、試合の終了時刻は「Web進行表」に掲載する。また、集合時刻は「招集掲示板」に掲示する。

○ 8月21日(水)

第1試合(女子1回戦) 《13時20分》

第2試合(男子1回戦) 《14時40分》

○ 8月22日(木)

第1試合(女子2回戦) 《 8時50分》

第2試合(男子2回戦) 《10時10分》

第3試合(準々決勝)以降 《試合を行うコートの一つ前の試合が終了してから15分以内》

※対戦相手が確定していない場合は、[オーダー票]を提出してから5分以内とする。

- (5) コートへの入退場は招集係・審判員の指示に従う。なお、オーダー用紙の交換は行わない。
- (6) 試合前の円陣等を行っても良いが、行う場合は同時に行う。
- (7) サービス(レシーブ)とサイドの決定は、コートで各マッチの開始時に行う。
- (8) 試合をしていない選手は、ベンチに座る。次の試合の選手がベンチから離れてコートの後ろなどでアップすることは認めるが、ラケット・ボールなどは使用せず、試合の妨げにならないように行うこと。また、その選手たちは応援しないこと。
- (9) 熱中症対策として、自分の試合が終わった選手はコート外での待機を認める場合がある。ただし、一度コート外に出た場合は、団体戦終了の挨拶まではコート内に戻ることはできない。

8 ベンチ入り指導者(監督またはコーチ)について

- (1) 団体戦・個人戦ともにベンチ入り指導者(監督またはコーチ)1名のベンチ入りを認める。
 - 団体戦を2面同時展開で行う場合は、ベンチは中央に置く。(1試合が残った時点でベンチを移動してもよい。)
 - 個人戦で2ペア以上出場し、同時にマッチが行われている場合は、ベンチ入り指導者(監督またはコーチ)は、「選手招集所」に集合しなくてもよい。その場合、途中からのベンチ入りを認める。また、ベンチ入り指導者(監督またはコーチ)がベンチを移動して助言することができる。ただし、一度離れたベンチに再び戻ることはできない。なお、選手はプレーしているコートを離れて助言を聞くことはできない。
- (2) マッチ中に選手に助言する場合は、サイドのチェンジおよびファイナルゲームに入る前のインターバルの1分以内(ヒートルール適用時は3分以内)とし、ベンチ入り指導者(監督またはコーチ)が所定のベンチで行う。なお、それ以外の監督・コーチおよび応援者による指示(ブロックサイン等を含む)は禁止する。
- (3) ベンチ入り指導者(監督またはコーチ)はベンチから立たない。選手を座らせてアドバイスをする場合も、監督はベンチに座って行るか、ベンチの前に腰を下ろした状態で行う。
- (4) 勝者の監督は、次の試合のオーダー用紙を7-(3)に従って提出すること。

9 競技について

- (1) 番号の小さい方のチーム(ペア)のベンチを、スタンド側とする。
- (2) マッチ開始前の練習は1分以内とする。
- (3) 給水は、各ゲームの終了時、および、ファイナルゲーム中のチェンジサイズ時に認める。8-(2)の助言が認められている時間はベンチ付近で、それ以外は審判台の付近で給水する。審判台の付近での給水の場合、給水容器等はあらかじめ選手が自分で審判台の下に置いておくものとする。また、審判台付近での給水の際は、給水のみを速やかに行い、打ち合わせなどはしないこと。ただし、隣のコートの試合の妨げにならないように注意する。
- (4) 会場での気温(乾球温度)が35℃以上となり、ファイナルゲームとなった場合、ファイナルゲームに入る前に3分間の休憩を許可する。なお、3分間の助言も認める。(本大会適用ルール)

10 かけ声・応援について

- (1) 個人戦の応援は、声をそろえての応援(いわゆる壁応援)は行わない。
- (2) 団体戦の応援は、声をそろえての応援(いわゆる壁応援)を認める。
- (3) 以下のような行為があった場合、選手・ベンチ入り指導者(監督またはコーチ)は「警告」の対象、応援団は「注意の喚起(または退場)」の対象となる。
 - 過度のかけ声、相手を不快にさせる発声、威圧的な発声や動作(相手に向かってのガッツポーズなど)など。また、アンパイヤーのコールを妨げたり、プレーやマッチの進行に支障をおよぼしたりするような行為。

- ベンチ・応援団からの助言(次のプレーに関わる内容の指示・かけ声) ※ブロックサインを含む。
- (4) 音の出る道具を使用したの応援は行わない。(うちわを使って音を出す場合は、音の出る道具と見なす。)
- (5) 応援はそれぞれのベンチサイドからとする。また、スタンド側の応援はスタンド前列とする。

11 その他

- (1) コート内へのクーラーボックスの持ち込みを認める。
- (2) マッチ中、コート内で通信機器等や小型扇風機等の電気機器を使用することはできない。
- (3) ベンチ入り指導者(監督またはコーチ)及び選手の傘(日傘を含む)のコート内での使用を認める。ただし、傘の色は、日光などを反射して試合に支障をきたす恐れがあるもの(白・銀色等)は認めない。(コート外の応援者・観戦者も、これに準ずる)
- (4) 競技中のフラッシュ撮影は禁止する。
- (5) 部旗や応援横断幕の掲出は行わない。
- (6) 集合時刻(及びオーダー提出時刻)の基準となる「対戦ペア・対戦チームの確定した時刻」、「試合が終了した時刻」とは、進行本部へ採点票が届き、進行係が試合結果を確認できた時刻とする。また、その時刻は、「Web進行表(プログラム記載のQRコード)」に記載された時刻とする。

12 審判上の注意

- (1) 集合時刻になっても選手が集合しない場合、5分後に「警告」、さらに5分後に2回目の「警告」、それでも集まらない場合は、その5分後にレフェリー判断で「失格」とする。団体戦の場合、警告回数は第1マッチのペアに累積する。時刻は日本標準時(各携帯電話等で確認できる時刻)を基準とする。
- (2) 身体上の理由によりマッチを中断する場合は、ベンチ入り指導者(監督またはコーチ)、及びベンチ外からのチームトレーナー等1名の入場や手当を認める。その際、マッチを中断した時点からタイムとして計測する。また、ベンチ外からのチームトレーナー等の入場や医療用具等の持ち込みは、コート主任の許可が必要となる。救護係等の入場は、大会本部が決定する。救急隊員等による救急搬送が必要であると判断された場合は、複数のコートで試合を止める場合がある。
- (3) マッチは開始の挨拶から終了まで、連続的にプレーすること。審判の「レディ」「レッツプレー」のコールがかかったら速やかにプレーの位置につくこと。
 - 例①:相手の準備が整っている状態で、ペアと打合せをしない。
 - 例②:タイムの許可をとらないで靴の紐を縛り直すなどプレーの中断をしない。流れを変えるために靴の紐を縛り直すなどの行為は、「警告」の対象とする。(ただし例②の場合、上記「2」の計測は行わない。ソフトテニスハンドブック競技規則第39条(2)による)
- (4) チェンジサイズ時やファイナルゲーム前は、前のゲーム終了時のコールから1分以内に次のゲームの準備ができるようにすること。45秒でコート主任のブザーがなる。60秒で2度目のブザーと「レッツプレー」がかかる。ただし、ヒートルー ル適用時のファイナルゲーム前は、前のゲーム終了のコールから3分以内に次のゲームの準備ができるようにすること。2分45秒でコート主任のブザーがなる。3分で2度目のブザーと「レッツプレー」がかかる。2度目のブザーと「レッツプレー」で、移動するそぶりがなければ「警告」の対象とする。
- (5) コート外からの声掛けや日傘をさしたり、扇風機で風を送ったりするなどの援助は「警告」の対象とする。